

## 神奈川支部 賀詞交歓会

主催者 支部長 山本 孝(46理・応数)

平成26年1月25日(土) 11時～

会場 ローズホテル横浜 参加者87名

本部参加者 東京理科大学理事長 中根 滋

東京理科大学学長 藤嶋 昭

理窓会会長 山田 義幸

東京理科大学維持会会長 森野 義男

理窓会東京支部支部長 植木キク子

理窓会埼玉支部副支部長 小林美喜夫

理窓会千葉支部・代表 杉浦 雅美

こうよう会神奈川支部支部長 森 恭子

平成26年理窓会神奈川支部新年賀詞交歓会が、中華街傍のローズホテル横浜に87名の参加者が集い、盛大に開催されました。まず、山本神奈川支部長からこの一年間の抱負の挨拶があり、その後来賓紹介と続きました。

上記の8名の来賓より神奈川支部賀詞交歓会開催のお祝いの言葉と、東京理科大学の近況や理窓会活動等のお話がありました。中根理事長からはリーフレット「理事長活動報告2013」を基に、昨年度の活動報告がありました。葛飾キャンパスオープン、経営プロセス革新、東京理科大ガバナンス、さらに理事長ビジョン2014「めざせエベレスト!」等、躍動する大学の現状と今後の大学の方向性について理解を深めることができました。山田理窓会会長からは同窓の輪を広げるためにグループウェアを活用するというお話をいただきました。藤嶋学長は現時点での受験志願者数の概況報告と、坊っちゃん科学シリーズ本「青年よ理学をめざせ」を用いて、小説の中の坊っちゃんと当時の物理学校の関連性についてユーモアを交えて紹介されました。

神奈川支部では毎年特別講演を開催しており、今回は日本アイ・ビー・エム株式会社相談役北城恪太郎氏による「これからの社会で求められる人材」というご講演でした。北城氏は中央教育審議会委員、国際基督教大学理事長の要職にもある方です。講演内容は、①イノベーションによる価値の創造、②これからの社会で求められる人材像、③今後の教育改革、④大学のガバナンス改革、と多角的な視点で構成されていて、民間や教育界等で活躍する今回の参加者にとって非常に有意義なものでした。終了後の大きな拍手がこの講演内容の素晴らしさを物語っていました。

懇親会は9テーブルで、この賀詞交歓会の狙いの一つでもある、卒業年度を超えて懇親が深まるように工夫した座席配置で、これまで以上に各テーブルから談笑の和やかな雰囲気が漂っていました。初めての参加者も数名いて、今後の神奈川支部のさらなる発展を予感させるものでした。当館自慢の美味しい中華料理と紹興酒を十分堪能したのち、参加者全員の記念写真撮影となり、最後は宮崎哲男神奈川支部顧問の音頭による手締めで、8月2日に同会場で予定されている定期総会での再会を期して終了しました。

(文責 細川 秀夫)

## 千葉支部 新春懇談会

主催者 支部長 小倉 正敬(44理・物)

平成26年1月26日(日) 10時～

会場 ポートプラザちば 参加者38名

本部参加者 東京理科大学理事長 中根 滋

東京理科大学学長 藤嶋 昭

理窓会会長 山田 義幸

東京理科大学維持会会長 森野 義男

最初に中根理事長から2013年の理事長活動報告と世界の理科大を目指してのお話がありました。続いて藤嶋学長、山田会長、植木東京支部長より、ご挨拶を頂きました。第I部の講演会では、演題1「東日本大震災と在宅医療－在宅酸素療法患者への対応事例－」、講師：帝人





ファーマ河島修一郎先生、演題2「東日本大震災から学んだ防災の課題」、講師：工学部2部教授辻本誠先生の各講演は大変好評でした。第Ⅱ部の懇親会では、森野維持会長、こうよう会稲荷山支部長、近県支部長からスピーチをいただき、大学、支部との親交が深まりました。最後に参加者全員で円陣を組みながら校歌を歌い、散会となりました。（文責 阿部 隆之）

## 福岡支部 総会

主催者 支部長 長 信成（48理工・物）  
平成25年11月23日（土）

会場 ホテル福岡ガーデンパレス 参加者27名  
本部参加者 東京理科大学理事長 中根 滋  
理窓会副会長 石神 一郎  
山口東京理科大学事務部長 佐々木有朋  
今年の支部会員への連絡は、往復はがき、はがき、メール等を通じて行ったが、連絡方法の変更の周知が不十分のためか、昨年度より参加者が少なかった。

次年度の支部総会は、早め目に準備し、参加者の増員を目指したい。（文責 長 信成）



## 福井支部 総会

主催者 支部長 酒井 康行（39理・化）  
平成26年3月8日（土） 17時～

会場 開花亭 s o u - a n 参加者22名

本部参加者 東京理科大学常務理事 吉本 成香  
理窓会副会長 石神 一郎  
東京理科大学維持会会長 森野 義男

酒井支部長より開会の挨拶および25年度活動報告、26年度活動方針の発表がありました。引き続き、大学本部より大学・理窓会・維持会の現況報告を頂きました。

その後、大学本部役員、こうよう会福井県支部役員の方々と交えて懇親会を行いました。懇親会では、親睦を深め、理窓会福井支部の更なる発展を誓いました。（文責 柳町 高正）

## サイクリング同好会(野田) OBツーリング

主催者 会長 稲葉 潔（49理工・数）  
平成25年11月24日

会場 千葉県野田市～東京都葛飾区

今年のコースは、母校の最寄駅、東武野田線運河駅を出発し、利根運河の堤防沿いを江戸川方面へ、さらに江戸川堤防を下流に向かい松戸市まで、ゴールは開校間もない葛飾キャンパスとした。ほとんどが歩行者および自転車の専用道路で、



距離も30km弱の安全・安心コース?で、参加者5名でのスタートとなった。当日はすこぶる快晴で、初冬とは思えないほどの暖かさ。まさにスポーツをするには絶好の日和であった。という事で、写真撮影、トイレ休憩をささみながらも昼前には葛飾キャンパスに到着。それぞれに満足した面々は、金町駅から帰路についた。

末尾になりましたが、我サイクリング同好会(野田)現役部員が、大学関係者に多大なご迷惑をおかけした事を深くお詫び申し上げます。今後、再発防止策とボランティア活動をさらに進めてまいりますので、よろしく願いいたします。

(文責 澤島 恵一)



年間、中学校は4年間で、合わせて500人規模の学校です。ラオスの義務教育は小学校(5年間)まででしたが、来年度からは中学校(4年間)までになるそうです。

授業参観は小5の算数「量と測定」で、小・中・大のさじとコップの水の量の換算をグループ活動も取り入れて熱心に指導していました。中1のクラスでは、小林さんが飛び入りで「文字と式」の授業を行いました。途中から牧下さんも加わり、生徒の多様な考え方を引き出す楽しいひと時となりました。午後は幼・小・中の子どもの歌と踊りの発表があり、私たちが引っぱり出されて、ペアになって踊りました。また、子どもたちと一緒にフォー(麺)の給食をいただきました。

ラオスは経済的には貧しいですが、仏教が根付いており、人々は純朴で心豊かに生活しています。今回訪問した学校で学ぶ子どもたちはとても恵まれていて、国全体を判断することはできませんが、新しい国づくりが始まっていることを実感しました。(文責 小久保 正己)

## 東京理科大学数学教育研究会有志による ラオスの学校訪問とベトナムの古都の旅

主催者 会長 池田 文男(48理・数)

平成25年12月24日(火)～30日(月)

参加者 13名

東京理科大学数学教育研究会(略称、理数研)は、数学教育国際会議 I CMEなどに積極的に取り組むとともに、理数研独自に海外の教育視察を行っています。今回は、ラオスの学校訪問とベトナムの古都の旅をしましたので、その報告をします。参加者は理数研前会長の澤田利夫先生、現会長の池田文男先生、理数研会員、理窓教育会員、数学教育の関係者およびその家族の13名です。

訪問した学校はラオスのビエンチャン市にある私立の幼小中一貫校NEERADA COMPHET SCHOOLです。幼稚園は3歳児から、小学校は5

# 鈴木正次特許事務所

所長 弁理士 涌 井 謙 一  
副所長 弁理士 山 本 典 弘  
弁理士 鈴 木 一 永

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-10-3(太田紙興新宿ビル9階)  
電話 03(3353)3407(代) FAX 03(3359)8340  
ホームページ <http://www.suzuki-po.net>